

企業短期経済観測調査（道北^{*}地域分）
（調査対象企業数：道北^{*}38社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
回答社数構成比 %ポイント
()内は前回調査時予測

(判断D. I.)

	2022/9月	12月	2023/3月	6月	9月	12月	2024/3月 までの予測
業況判断 < 良い - 悪い >	3	0	2	8	5	(0) 3	-8
うち製造業	38	25	13	12	25	(25) 0	12
非製造業	-6	-6	0	6	0	(-7) 3	-13
国内での製商品・サービス需給 < 需要超過 - 供給超過 >	5	-10	-18	-12	-18	(-13) -16	-13
製商品在庫水準 < 過大 - 不足 >	-7	3	3	3	4	14	
生産・営業用設備 < 過剰 - 不足 >	-5	2	-2	-2	0	(-2) 0	-2
雇用人員 < 過剰 - 不足 >	-53	-45	-45	-48	-42	(-50) -47	-58
資金繰り < 楽である - 苦しい >	12	15	12	18	15	16	
金融機関の貸出態度 < 緩い - 厳しい >	19	17	17	17	20	20	
借入金利水準 < 上昇 - 低下 >	3	5	6	3	0	(9) 3	15
販売価格 < 上昇 - 下落 >	20	30	30	27	18	(18) 13	19
仕入価格 < 上昇 - 下落 >	63	68	60	55	50	(52) 50	53

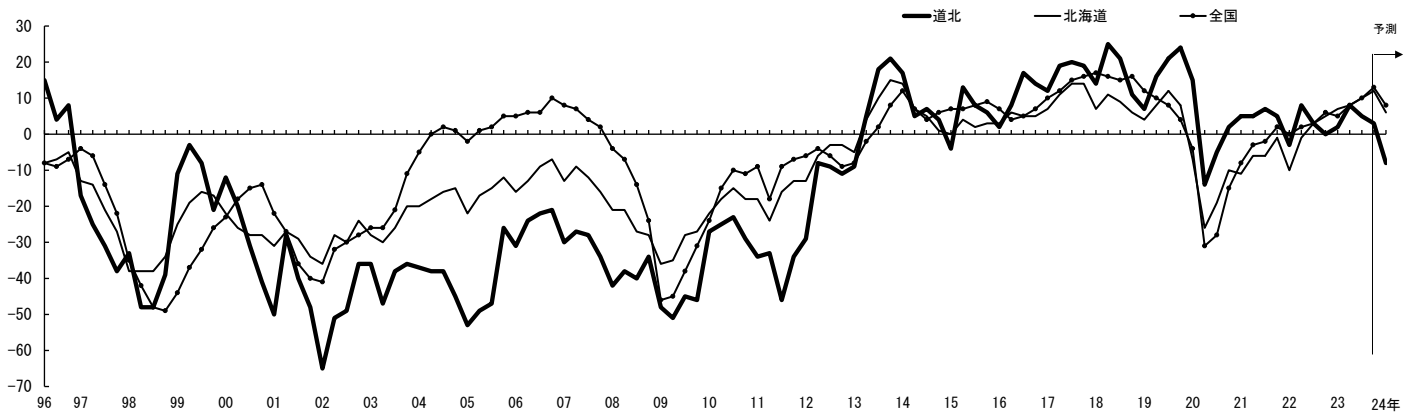
(事業計画)

全産業、前年度比%、
< >内は前回調査比修正率%

	2021年度実績	2022年度実績	2023年度計画			
			上期		下期	
売上高	6.0	5.8	-3.4 < 0.0 >	-3.0 < 0.0 >	-3.8 < 0.1 >	
経常利益	69.4	-20.3	-7.7 < 7.9 >	-2.1 < 26.5 >	-14.1 < -9.6 >	
当期純利益	16.0倍	-28.3	20.5 < 23.1 >	45.7 < 62.9 >	-4.0 < -9.5 >	
設備投資額	-45.8	14.1	41.3 < 13.7 >			

2023年12月短観・調査結果

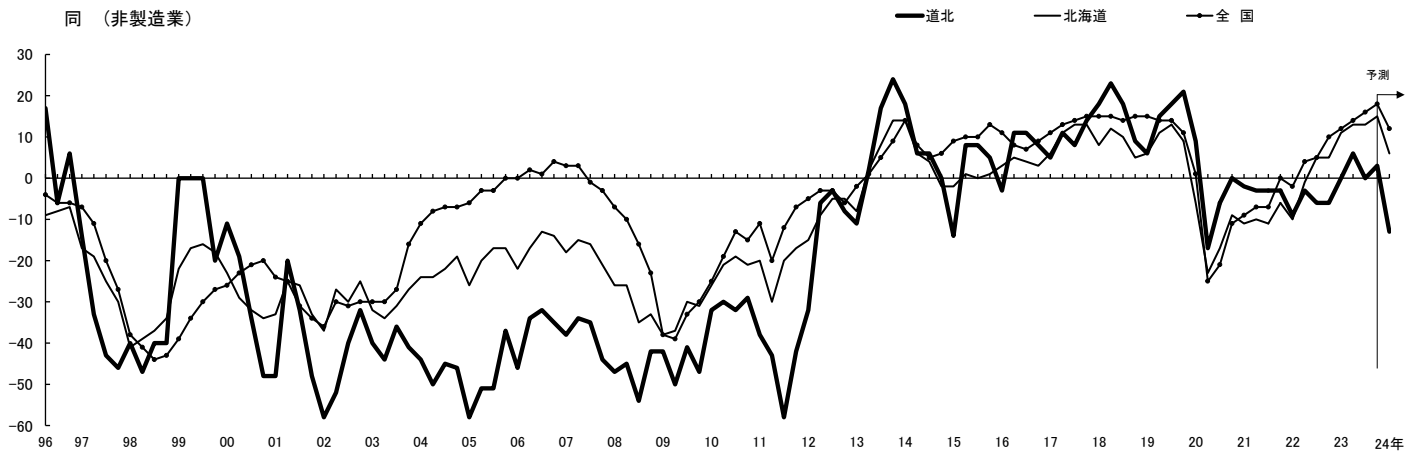
業況判断D. I. (「良い」 - 「悪い」、%ポイント)



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注) 道北は、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。

道北地域の企業短期経済観測調査結果（2023年12月）の概要

- 調査対象企業数：道北地域 38 社（製造業 8 社、非製造業 30 社）
- 回答率 100.0%（有効回答社数 38 社）
- 回答期間：2023 年 11 月 9 日～12 月 12 日

1. 業況判断 DI

- 12月の業況判断DI（全産業ベース、DI：%ポイント<以下同じ>）は、+3と前回9月調査に比べて悪化した（前回+5、前回比-2）。
 - 製造業の業況判断DIは、0と前回調査比悪化した（同+25、同-25）。
 - 非製造業の業況判断DIは、+3と前回調査比改善した（同0、同+3）。
- 先行きの業況判断DIは、悪化を見込み、-8との予測（12月+3⇒2024年3月までの予測-8）。
 - 製造業は改善（同0⇒+12）を見込む一方、非製造業は悪化（同+3⇒-13）を見込む。

2. 各種判断 DI

- 「製商品・サービス需給判断DI<需要超過-供給超過>」（前回調査-18⇒今回調査-16）は、供給超過幅が縮小した。
- 「製商品在庫水準判断DI<過大-不足>」（同+4⇒+14）は、過大超幅が拡大した。
- 「生産・営業用設備判断DI」<過剰-不足>」（同0⇒0）は、不変。
- 「雇用人員判断DI<過剰-不足>」（同-42⇒-47）は、不足超幅が拡大した。
- 金融環境についてみると、「資金繰り判断DI<楽である-苦しい>」（同+15⇒+16）は、「楽である」超幅が幾分拡大した。「金融機関の貸出態度判断DI<緩い-厳しい>」（同+20⇒+20）は、緩い超幅に変化がなかったほか、「借入金利水準判断DI<上昇-低下>」（同0⇒+3）は、上昇超に転じた。
- 「仕入価格判断DI<上昇-下落>」（同+50⇒+50）は上昇超幅に変化がなかった一方、「販売価格判断DI<上昇-下落>」（同+18⇒+13）は、引き続き、上昇超幅が縮小した。

3. 事業計画

- 2023年度の計画は、売上高は前年度比-3.4%、経常利益は同-7.7%、当期純利益は同+20.5%、設備投資額は同+41.3%となっている。前回調査との比較では、売上高は据え置かれた一方、経常利益、当期純利益、設備投資額は上方修正された。

以 上